

## 染田屋茂の書籍翻訳ワークショップ 2019 《ノンフィクション編》

弊社リベルでは、本年も、書籍翻訳の全プロセス（リーディング、翻訳、推敲、校正など）を実践的に学べるワークショップを開催いたします。実際に刊行される可能性が高い1冊の書籍を受講者6人で分担して翻訳します。刊行された場合には、書籍に翻訳協力者としてお名前が掲載される予定です。

これまでのワークショップでは、期間中に受講者の皆さんの翻訳スキルが大きくアップし、受講された多くの方にすでに弊社から書籍の翻訳を依頼しています。まさしく、「仕事につながる書籍翻訳ワークショップ」です。

### 概要

ジャンル	英語ノンフィクション
対象	書籍翻訳の経験のある方、書籍翻訳の勉強をされている方、 あるいは同程度の翻訳力のある方 ※翻訳スキルチェックによって受講者を決定いたします
定員	6名
受講料	148,000円（159,840円税込）
場所	株式会社リベル ミーティングルーム（最寄駅：表参道、渋谷、明治神宮前）
日時	2019年5月18日から2019年12月頃まで（詳しい日程については次ページをご覧ください） 全9回、土曜日 14:00～16:00

### 講師プロフィール

染田屋 茂（そめたや・しげる）

1950年、東京都生まれ。1974年、早川書房入社。以後、10年間の翻訳専門期間をはさみ、朝日新聞社、武田ランダムハウス・ジャパン、KADOKAWAで翻訳書を中心に書籍編集に携わる。『世界を動かすイノベーターの条件』『移動の未来』『DEEP THINKING:人工知能の思考を読む』（以上日経BP）、『ウィンストン・チャーチル』（共訳、KADOKAWA）、『極大射程』（新潮文庫）、『死の記憶』（文春文庫）など、多数の訳書がある。

### 講師からのメッセージ

これまで4回開催したワークショップを通じて、改めて思い知らされたのは、受講者の方それぞれの持つ長所・短所がまったく違うことでした。

英語力は十分あるのに、作者の意図を読み間違えて誤訳を重ねてしまう方。読みやすさにこだわりすぎて、原文の味わいを薄めてしまう方。辞書に載っている訳語に捉われて、つい読み手の頭にすんなり入らない訳文を書いてしまう方……

個々に違う長所を伸ばし、短所を減らしていくには、ひとりひとりの受講者の個性を見分け、頻繁にフィードバックできる形式をとる必要があります。その点、限られた人数で、実践的な作業をしながら切磋琢磨する本講座のコンセプトには、大いに実効性があると考えています。受講後に驚くほど力をつけた方が次々と輩出するのを見て、ますますその思いを強くしているところです。

多くの読者の目に触れる可能性の高いテキストを素材にする作業は、講師も受講者も、話を聞いているだけですむ従来の講義型のクラスよりはるかに緊張を強いられます。それでも、自分の訳文が本になる過程に直接かかわることと、それが実際に本になったときの喜びは、なにより得難い体験になるはずです。

勉強を始められたばかりの方から、すでに訳書もある方まで、翻訳という仕事に興味と意欲がある方なら、どなたでも歓迎します。どうぞ、ふるってご応募ください。

染田屋 茂

## 募集・選考

### ■ 応募受付 2019年3月26日(火)～

⇒ 応募者には**翻訳スキルチェック**を受けていただきます。

- ・お申し込み受付後、スキルチェック用の課題をメールでお送りします。
- ・スキルチェックの結果にもとづき、受講者を決定します。

### ■ スキルチェック用訳文提出期限 2019年4月15日(月) 正午

### ■ 選考結果通知 2019年4月17日(水)

## 講座内容

実際に日本で刊行される可能性が高いノンフィクションの書籍1冊を、分担して訳します。受講者にはあらかじめ作品を読んできていただきます。第1回は全員で作品についての理解を深めながら、講師が翻訳上の注意などをお伝えします。第2回から第7回は、各回担当者の訳文をたたき台にして、書籍翻訳のコツを学びます。第8回は全員でゲラを校正し、最終回では、全体の総括をするとともに、受講者一人ひとりに対して講師が個別にアドバイスします。課題作品が刊行される場合、第8回の日程はゲラの出校に合わせ、第9回は刊行直後となる予定です。

## スケジュール

第1回 5月18日(土)	<b>翻訳をはじめる前に</b> 課題作品の内容理解、翻訳上の注意 など	
第2回 6月1日(土)	● <b>訳文検討①～⑥</b>	
第3回 6月8日(土)		・各回、受講者一人の担当箇所の訳文を題材にします
第4回 6月15日(土)		・担当回の訳文は事前に提出していただきます
第5回 6月22日(土)		
第6回 6月29日(土)		
第7回 7月6日(土)		
第8回 11月初旬 [予定]		<b>ゲラ校正</b> 実際のゲラを使った朱入れ など
第9回 12月中 [予定]	<b>まとめ</b> 翻訳者の役割、出版社との関係、個別アドバイス など	

## お申し込み方法

- 1) 弊社ホームページからお申し込みください。
- 2) 事務局よりメールにて翻訳スキルチェック課題をお送りします。
- 3) **4月17日(水)**にメールにて選考結果をお知らせします。
- 4) 受講生の候補となった方には、講座の詳細とともに受講料の振込方法をお知らせします。**4月24日(水)**までに指定の銀行口座にお振り込みください。期日内にお振り込みがない場合は受講資格を失います。なお、いったん納入された受講料の返却には応じかねますのでご了承ください。

お申し込み <http://liber-ltd.com>  
お問い合わせ <http://liber-ltd.com/contact>

● 次ページにて前回の受講者のみなさんの声を紹介しています ●

## 過去の受講者の声

◆ 翻訳勉強会で知り合った方々から評判を聞いて受講しました。出版予定の書籍を課題にして、実際に翻訳、練り直し、初校ゲラの赤入れの工程を経験できるので、突然、書籍翻訳のチャンスが巡ってきても心配無用の充実した内容でした。編集・翻訳に長年携わってこられた染田屋先生の指導からは、本が世に出る前の臨場感のようなものが伝わってきました。出版の裏話も楽しかったです。リベルの翻訳者の方にも原稿に目を通していただいて、自分では気が付かなかったクセやニュアンスのずれなどを指摘してもらい、その後の翻訳作業に役立っています。まさに実践的に学べる講座でした。

(2018年ノンフィクション編受講者)

◆ 遠方から講座に通うのは大変でしたが、それを上回る収穫がありました。原書を翻訳して、実際に書籍になるまでのほぼ全過程を詳しい説明付きで体験することはそうそうないことだと思います。自分の訳した文章をたくさんの方目でチェックしていただくと、今まで気が付かなかった自分の癖や思い込みにはっとさせられ、自身の訳文を客観的に読むことができました。書籍翻訳は決してひとりで行うのではなく、たくさんの方の力を合わせて完成させられるのだと改めて実感できました。指導して下さった先生の毎回の講義はためになるものばかりで、スタッフの皆様、ともに勉強した皆さんと過ごした時間はかけがえのないものになりました。そしてなにより実際に出版される翻訳書にかかわれたことだけでも幸せでした。

(2018年ノンフィクション編受講者)

◆ とても中身の濃い時間を共有させていただき、心から感謝しております。優秀な皆様に混じり、アップアップしながらの日々でしたが、素晴らしい経験をさせていただきました。まとまった長さのものを、むらのない読みやすい訳文に、期日までに仕上げる難しさ。まだまだ時間はかかりますが、染田屋先生の貴重なアドバイスを頼りに精進を続けてまいります。リベルの皆様にも大変お世話になり本当に有難うございました。

(2018年ノンフィクション編受講者)

◆ 染田屋先生のリライトは目から鱗で、こんなにわかりやすくなるのかと感動するとともに、自分のひとりよがりな日本語表現に絶望しました。先生のリライトとは別に、リベルの方に日本語だけ読んで意味不明瞭だったところにコメントを入れていただいたのも勉強になりました（どうしても原文に引きずられてしまうもので……）。さらに、それぞれ持ち味の違う受講生どうして批評しあえたのも良い経験でした。この春、初の訳書を出すことができたのは、講座を受講したおかげです。

(2017年ノンフィクション編受講者)

◆ 今回の講座を通じて、書籍翻訳の奥深さ、難しさを痛感させられました。先生のお話はとても実践的で、すぐに役立つことが多く、的確な指摘をたくさんいただき、多くの知識を得ることができました。また、他の受講生のみなさんといろいろと話をし、情報交換をすることもでき、仲間がいたことで、頑張れたとも思います。改めて翻訳という仕事の難しさ、面白さを実感することができ、これまでの自分を反省し、今後、どのように仕事に取り組んでいけばよいのかを考える良いきっかけになりました。スタッフの皆様にもいろいろサポートしていただき、感謝しています。

(2017年ノンフィクション編受講者)

株式会社リベル LIBER

〒150-0001

東京都渋谷区神宮前 5-38-10 神宮前井門 301

Tel: 03-5468-3521 Fax: 03-5468-3522

リベル翻訳講座事務局 <http://liber-ltd.com/>